

衆議院議員 高木けい

未来を創る! 新たな挑戦。



平成30年通常国会終了後の様々な出来事

7月22日に閉会した通常国会の後、政界では様々な出来事がありました。9月20日の自民党総裁選挙、9月30日の沖縄県知事選挙、10月2日の党役員・第4次安倍改造内閣人事など、この秋は話題に事欠きませんでした。



◀ニコニコ動画公開討論会で
お互いに健闘を讃えて



投票前の出陣式。
安倍総裁から力強い決意表明▶

■自民党総裁選挙で安倍晋三総裁が三選

6年ぶりに行われた自民党総裁選挙（3年前は現職安倍晋三総裁のみ立候補のため選挙未実施）。結果は安倍総裁の三選でした。私は「安倍総裁三選を実現する有志の会」の選対総務として、総裁選挙に直接関わる初めての機会をいただきました。当初から議員票においては安倍総裁優勢でしたが、現職総理・総裁として、党员票でも石破候補に差をつけて勝たなければなりませんので、党员への働きかけに重点を置いた選挙戦が展開されました。私は党全体の「有志の会」の選対総務であり東京23区の選対事務局長的な役割を命じられていましたので、国会議員への連絡調整はもちろん、各区の区議会議員にも東京における「有志の会」の幹事に就任していただく要請をするなど、今まで行っていなかった明確な協力をお願いしました。その結果、現在23区内自民党区議会議員289名中、248名が幹事に就任していただき、最終日の9月19日夕刻に秋葉原駅前で行われた「安倍晋三総裁最終演説会」では、国会・都議会・区議会の各先生方の協力により、約3000人の自民党支持者に集まっていただくことができました。因みに自民党北区総支部では、12名の区議会議員のうち10名が、東京の「安倍総裁三選を実現する有志の会」幹事に名を連ねていただきました。

9月20日午後1時から、自民党本部8階ホールで行われた総裁選投開票の結果、安倍晋三総裁が順当に三選を果たしました。

私は、内政・外交共に、安倍総裁が三度（みたび）自民党総裁に選ばれて、本当に良かったと思います。その理由は以下5点。

- ①10月2日現在、日経平均株価は24400円台を記録するなど、結果としてこの6年間でデフレ脱却に道筋をつけ、わが国全体（国・地方合わせて）の税収を24兆円増やすなど、経済政策で着実な成果を上げていること
- ②わが国にとって死活的に大事なアメリカとの関係において、強固な信頼関係に基づいた外交・安全保障・二国間貿易問題に関する政策が着実に成果を上げていること
- ③地球儀を俯瞰する外交、自由・民主主義・法の支配という価値観を共有する国々とつながりを強めていく、価値観外交が着実に成果を上げていること
- ④G7などの国際舞台で各国首脳と強固な信頼関係を築き、そうした会議で利害が衝突し議論が行き詰まるたびに「シンゾーに聞いてみよう（麻生財務大臣談）」と言われるほど問題解決のキーマンとなっていること



ニコニコ動画公開討論会で、両候補の真剣な討論



党员・国会議員の全ての投票結果。安倍総裁の三選決定

5 衆議院選挙3回、参議院選挙2回、合計5回の国政選挙の全てに圧勝していること。

私はこのような状況で、安倍総裁を変えるという選択はありえないと思っていましたので、安倍晋三総裁三選に向け、全力で取り組みました。

■ 沖縄県知事選挙

9月30日投開票の沖縄県知事選挙は、わが党推薦のさきま淳候補が善戦しましたが、一步及ばず惜敗しました。わが党は総力を挙げて戦いましたが、翁長知事の急逝に伴うこの度の選挙は、当初から非常に難しい戦いと言われていました。自民党総裁選挙と一部期間が被ってしまったこともあり、私自身も総裁選直後の9月23日に初めて、崎山知尚前都議（石垣島出身）と共に沖縄・石垣島入りし、二人で徹底した地上戦を行いました。力及びませんでした。

沖縄はわが国及びアジアと世界の安全保障の要であり、できれば政府と対立することなく、対話による相互理解と発展を進める県政になって欲しいと願っていました。しかし選挙の結果は厳粛に受け止めなければなりません。新たな体制となった沖縄県と、山積する課題をどのように解決し進めていくのか、政府と与党が一層知恵を絞っていかねばなりません。なお、宜野湾市長を辞任して県知事選に立候補したさきま淳候補の後任を決める宜野湾市長選挙では、わが党推薦の松川正則候補が、また沖縄県議補選石垣選挙区では、わが党公認の大浜イチロー候補が当選しました。

■ 党役員新人事・第4次安倍改造内閣発足

自民党総裁選、沖縄県知事選挙が終わり、10月2日、新たな党役員と第4次安倍改造内閣の顔ぶれが決まりました。安倍総理が事前に示唆していた通り、党役員及び内閣の骨格は変えず、「適材適所」の人事。骨格部分の顔触れが大きく変わらないだけに、地味な印象かもしれませんが、これから臨時国会、APEC閣僚・首脳会議、年が明けると統一地方選挙、天皇陛下の譲位、G20首脳会議、参議院選挙、消費税増税、ラグビーワールドカップ、憲法改正への取り組み等々、極めてたくさんの課題がありますので、一つ一つ着実に成果を出していくことが求められます。

安倍総理が命名したように「全員野球内閣」。自由民主党は、常に皆で努力する政党です。私もその一員として、しっかり役割を果たしていきたいと考えます。

■ 政策グループ「清和政策研究会」に正式入会

9月27日、自由民主党内の主要な政策研究集団の一つである「清和政策研究会」（会長・細田博之衆議院議員）に正式入会いたしました。清和会は昭和54年、自民党を良くするため、派閥のための派閥ではなく、清く・正しく・たくましい活動をしてゆこうとの精神で、福田赳夫先生によって設立されました。

「清和」の意味は、「政清人和」（出典・晋書「諸葛恢伝」）、「まつりごと清ければ人おのずから和す」、すなわち「清廉な政治は人民を穏やかにする」という意味だそうです。歴代数多くの首相を輩出している、現在98名を擁する自民党内最大の政策研究集団です。安倍総理も清和政策研究会所属。改めて、私も伝統ある清和政策研究会の一員として、自信と誇りをもってしっかり研鑽に励んでいきます。

■改めて「衆議院議員 高木けい後援会」が再編・発会しました!

9月21日、高木けい後援会の再編・発会式が王子・北とびあ飛鳥ホールで開催されました。旧来の後援会組織をさらに充実させるべく、町会・自治会を中心とする発起人103名、地域幹事420名の体制で発会。当日は500名を超えるお客様がお越しになり、また来賓として、自由民主党幹事長代行・萩生田光一先生、元防衛大臣・稲田朋美先生、北区長・花川よそうた先生がお祝いに駆けつけていただき、大変賑やかで熱気あふれる再編・発会式となりました。新たな後援会長として、北区上十条3丁目町会・栗橋弘明会長にご就任いただき、今後北区自民党の支持率が飛躍的に高まるよう、しっかり努力していきます。ご参加いただいた皆様に、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

後援会



栗橋後援会長の熱のこもった挨拶



後援会幹部と稲田朋美先生、萩生田光一先生、花川よそうた先生と共に鏡開き

地元 王子本町事務所

〒114-0022
北区王子本町1-14-9-202
ヴェージュ エスコルタ
電話:5948-6790
FAX:5948-6791



議員会館事務所

〒100-8982
千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館310号室
電話:3508-7601
FAX:3508-3981



自民党員を募集しています!

自民党は国民政党として広く国民の支持をいただくために、常時党員を募集しています。

一般党員 年額 4,000 円

家族党員 年額 2,000 円

入党のお申し込みは高木けい事務所までご連絡ください。